

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 11 月 29 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200577		
法人名	有限会社 メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム千同ひまわり		
所在地	広島市佐伯区千同2丁目6-29 (電話) 082-924-2567		
自己評価作成日	平成24年11月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年11月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

1人ひとりの生活のリズムを大切にしながら、日常生活の中で「出来る事」を見つけ役割を持っていただき料理、掃除、洗濯等を職員と共に行っている。花や飾り付けは季節に応じた物を取り入れ家庭的な雰囲気となるように努めている。活動目標に「地域との交流を大切にします」と掲げ町内のお祭り、近隣の保育園との交流等地域行事に積極的に参加したり、地域の方をホームに招き入れカラオケ大会や大正琴の演奏会を行い、地域住民の一員として共に支え合う関係づくりを大切にしている。医療面に関しては、医療法人みやうちのグループである利点を活かし廿日市野村病院と連携を取りながら健康管理や相談などいつでも医療支援が受けられる体制を築いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

この事業所は広島バイパスのたもとに位置するが、騒音はなく静かな住環境である。新築されて間もないだけに建物全体に清潔感が溢れており、南に面したリビングはゆったりとしたスペースが確保され明るく開放感がある。この事業所の顕著な特徴は、開設間もないというのに地域との結びつきが非常に強い点にある。運営推進会議には家族を始め地域の多くの代表者が参加し活発な意見交換があり、地域行事や多彩な情報も寄せられ、ボランティアの訪問や各種地域行事への参加等相互交流がされている。又、防災面に於いては毎月、避難訓練が実施され、緊急時の地域の協力体制も整っている。事業所運営の基本を「スタッフ都合でなく入居者本位」とし、「入居者さんに自己実現してもらおう」いわゆる『本人らしく、本人の望む生活を送れる』ことを願いその達成を目指し支援がされている。

# 1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b>  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「地域との交流を大切にします」という活動目標を掲げ、毎朝朝礼にて唱和しており、地域の夏祭り・慰霊祭・秋祭り等へ参加し実践につなげている。	職員全員の話し合いにより作成された、事業所独自のケア目標・活動目標が事業所内に掲示・唱和されている。又、日々の活動における『心得』が10項目掲げられており、それは管理者との個人面談時に徹底が計られている。更に個人目標も設定し、その達成度合を確認、評価する仕組みが取り入れられている。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b>  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や花の水やりの時に地域の方とあいさつや話をしたり、地域の方から行事への参加の声掛けをして頂いたりし交流を図っている。	町内会に加入しており、夏祭りや盆踊りの地域行事へは積極的に参加しており、大正琴やチェロの演奏等のボランティアの訪問もある。事業所倉庫に町内会の備品（タコ焼き機等）の一時保管を請け負っている等、地域との盛んな交流、密接な関係が築かれている。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b>  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で相談があればアドバイスをを行い、地域の方を通じて相談を受け今後の支援の方法などをアドバイスしている。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b>  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	活動、参加した行事は写真を見て頂きながら報告しており、参加者からの意見は外出等の行事計画に取り入れたり、職員で話し合い日々のケアに活かしている。	運営推進会議は家族や町内会長等の多くの地区代表の関係者が参加し活発な運営がされている。地域からは行事予定やその参加のお誘い、ボランティアの紹介等があり、家族を始めとする参加者からは積極的な発言・意見交換があり、それらは運営に活かされている。	
5	4	<b>○市町との連携</b>  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議で地域包括支援センターを通して伝え関係を築いている。	半年前の事業所開設時には法人とし開設に関わる確認やアドバイスについて市役所と多くの連絡を取り合った。管轄の区役所に運営推進会議への参加を要請したり、ケアマネ勉強会への参加や介護認定の更新の機会を利用し窓口担当者とのコミュニケーションを計るよう心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して身体拘束をする事の入居者へ与える悪影響を理解しており、日中は玄関も開錠し、自由に入入ることができるようにしている。</p>	<p>法人全体会議では、身体拘束防止委員会により事例発表や防止についてのテーマが取り上げられており、その内容は参加者により、スタッフ会議の場で皆に報告されている。又、どういったことが拘束に当たるのか、日常の活動の中で管理者より職員に説明・意識付けが計られている。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して虐待について理解しており、常日頃からケアの内容に関して虐待に当たらないかどうか注意を払い、その防止に努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して権利擁護に関して理解しており、必要と思われる入居者とその家族には制度の紹介と利用に関しその都度話し合いの機会を持ち、相談しながら導入の検討をしている。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居契約時納得して頂けるように説明を行っている。また、必要であれば入居後も随時説明を行い、質問も受け付けている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にて意見、要望を受け付けており、玄関には意見箱を設置し誰でも記入できるようにしている。</p>	<p>家族意見は主には面会時や運営推進会議で「何かありませんか？」と問いかけ、意見・要望を言い易い環境作りがされている。家族同伴で日帰りの温泉旅行を実施した際は職員と家族がゆっくりと話す時間が持て、コミュニケーションが深まり相互の理解が進み運営に活かされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に1回と随時、スタッフ会議を行っており、職員の意見を受け付け反映させている。	職員の全体カンファレンス（月1回）を開き、職員の意見を聞いている。個人面談で忌憚のない意見交換、日々の悩み事などカウンセリング機能も含めた多岐にわたる相談に応じている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	人事考課にて各自が目標を掲げ向上心を持って働けるよう努めている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	本部からの研修の案内を職員全員が見る事が出来るようにしており、希望者には参加できるよう配慮している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	2か月に1回、関連法人のグループホームの管理者と交流し情報の共有に努めており、地域の介護支援専門員の自主勉強会にも参加し交流している。法人外の居宅介護支援事業所の見学を受け入れたり、グループホームへの見学も2か所行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	関連法人の相談員と協働し、入居される前に生活歴等の情報収集を行い、本人・ご家族が安心してもらえるよう話し合いをしながら馴染みの関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>関連法人の相談員と協働し、相談時や見学時に困っている事や不安な事をお聞きしており、入居後もご家族との連携に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前に面談を行い状況をお聞きし、在宅から継続して訪問歯科を利用して頂いたり他のサービス利用も含め専門医と相談しながら対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者と職員が一緒に家事を行い役割を持って生活して頂き、時には教えて頂いたりと共に生活する馴染みの関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日頃から何かあればご家族に報告、相談をするようにしている。ご家族の提案、協力で温泉へ日帰り旅行をしたり、介護者の一員として協力を得られるような呼びかけをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>以前生活されていたグループホームに訪問したり、馴染みの関係が途切れないように努めている。</p>	<p>利用者の友人の訪問は快く迎え、絵の好きな人は要望により以前通いなれた絵画展にお連れするなど、馴染みの人や場所が途切れないよう適切な支援がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>気の合う入居者同士で外出を行ったり孤立しないように職員が気配りをし、支え合い共に生活出来る様支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退居された後でも相談や情報の提供を心掛けている。</p>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日頃の関わりの中から本人の希望・要望の把握に努め、ケアプランに取り入れながら一人一人に合ったケアをするよう努めている。</p>	<p>「スタッフの方は皆忙しそうですね！」の入居者の一声をキッカケに職員も入居者と一緒にお茶時間を過ごすよう改めて職員に指示がされた。最近はその定着し利用者にゆったりと寄り添うことにより思いや意向が把握しやすい状況に改善された。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前に面談を行いこれまでの生活歴をお聞きし、職員全員が把握し今後のケアに活かせるようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>24時間の様子を2時間おきに記録に残し、いつもと異なる言動はありのままを記載し、さらに重要な事は申し送りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人とご家族の意見と想いを聞いたうえで職員全体でカンファレンスを行い、それらを反映させたケアプランを作成しており、毎日チェックすることで現状に即しているかどうかの判断につなげている。</p>	<p>3ヶ月毎に見直しが行われる介護計画は主に家族の面会時を利用し要望・意向が確認されている。又、日々、記録されるチェックリストに基づいて職員全体でカンファレンスが実施され、関係者の意見を反映した現状に即した介護計画が作成されている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の行動記録やカンファレンスは記録を残している。連絡ノートを活用し職員間での情報の共有が出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族や地域の方の協力を得ながら支援を行い、柔軟なサービスが提供できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>家で暮らしていた時と同様に地域との交流が持てるように支援している。近所の方とのカラオケ大会や夏祭りへの参加等関わりを持って頂ける様努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人やご家族の意向を大切に確認したうえで希望の医療機関への受診を支援している。</p>	<p>通常は運営母体である関連病院での受診を基本としているが、本人・家族の要望があれば歯科や眼科の専門医、通いなれた掛かり付け医での受診も可能で適切な医療を受けられるよう支援されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	職員に看護師がおり日常的に相談をしている。訪問看護師とは重要な情報・相談したい事は訪問看護記録ファイルを利用し情報の交換・共有に努めている。また、日常的に連絡が取れるようにしており、適時受診できるように連携体制を整えている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	関連法人の相談員との連携体制を整えており、入居者・ご家族が入退院時には安心できるように協力を得ている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	本人、ご家族の意向を踏まえ主治医と連携をとりながら、対応できるケアについて説明を行っている。	契約時の利用約款等には事業所として看取り介護を行うとは謳っていないが、実際には家族の強い要望により事業所で看取りをした実例がある。家族・本人・医師等関係者の意見、要望を踏まえ、事業所として可能な範囲での柔軟な対応がされている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時対応の流れ、緊急連絡網を整備し全職員が分かるようにしている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	避難訓練を毎月行い全職員がその方法を身に付けられるように取り組んでいる。地域の方からはいつでも協力しますと言葉をいただき自動火災通報装置には地域の方の電話番号も登録している。	毎月、避難訓練が実施されており職員、入居者共に避難方法・場所等について身体が自然に動くようになっている。自動火災通報装置には地域の方の電話番号も登録される等、協力体制が築かれている。又、非常出口のロックは自動解錠システムとなっている等、災害対策は前向きに取り組まれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	1人1人のプライバシーを大切に、羞恥心に配慮した声掛け、誘導に努めている。	「利用者は人生の大先輩」この気持ちをもって接することにより言葉使いや対応が適切なものになるとスタッフには繰り返し徹底が計られている。又、排泄に関すること等、羞恥心やプライバシーに関することは大きな声で話さないよう細やかな配慮がされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員側の一方的なケアではなく、本人の思い（ニーズ）や日々のリズム・ペースに合わせたケアに取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人1人の気持ちや希望をケアプランに取り入れ、それに沿ったケアを実践している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者の意向に沿って好きな服を着る、身だしなみを整える等の援助を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好にあった献立を考えており、食べやすいように工夫している。また、誕生日には食べたい物等希望を伺っており、行事には季節に合った食事をお出ししている。	食材のキザミやテーブル拭き、利用者の好みや能力にあわせて料理作りから片付けまで職員と一緒に皆で楽しみながら進められている。一応メニューは事前に作成されているが誕生日や行事には特別食を作り、利用者の希望によりメニュー変更することもあり柔軟な対応がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>偏った食事にならないよう献立を立てており、主治医より指示があれば個々に合わせた食事量にしている。水分摂取量に気を配りコーヒー・お茶・スポーツドリンク等飲んで頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の歯磨き、口腔ケア、義歯の手入れは欠かさず、必要な場合は歯科受診や訪問歯科往診により指導を受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>1人1人の排泄のパターンを探り出来るだけトイレで排泄して頂ける様支援し、排泄機能を維持できるように取り組んでいる。</p>	<p>パットやおしめに偏らないよう極力トイレにお連れすることに努めている。はっきりした意思表示が少ない場合は、表情の変化を読み取りトイレに誘導する等、細やかな対応がされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>体操や散歩で腸の運動に働きかけ、便秘傾向の強い方には主治医と相談し、下剤や整腸剤にて調節を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴したい日、時間帯は本人の希望を聞き支援している。1人ひとりの気持ちや習慣に合わせた支援をするように心がけている。</p>	<p>朝から夕方までの時間帯で入浴対応している。個人別に曜日や順番は決めておらず声かけにより希望に沿った対応としている。希望する人には毎日入浴してもらおうなど本人の意向に沿った支援がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	1人1人の生活習慣を尊重し、日中の活動量を考慮し休息できるように声掛けをしたりしている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	スタッフ会議でホームでの内服薬について職員同士で勉強する場を設けている。また、個々の職員も薬の説明書を読み副作用について理解している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居前に把握している情報をもとに、楽しく日々を過ごせるよう嗜好・趣味の把握に努めている。畑作り、カラオケ、ぬり絵などの軽作業や手仕事などを通して張り合いのある生活がおくれるよう援助している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節が感じられる行事を年間を通して取り入れている。日常的にもドライブ、買い物、美術展見学などを積極的に行っている。	天候や時候の良い時は事業所の周辺の散歩が日常的に行われている。又、あじさいやバラ鑑賞で近隣へのミニドライブ、家族も参加しての日帰りの温泉旅行、夏祭り等の地域行事への参加など適宜な外出支援が計画・実施されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	金銭トラブルにならないように注意したうえで、少額の金銭を持たれている方もいらっしゃる。また、本人の嗜好品・生活用品等を立て替えたり預り金などで購入し支払いも自分でして頂いたりして支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族の意向や事情も考慮したうえで電話を利用して頂いている。また、携帯電話を持たれている方もおられ、自室でお話を楽しまれている。また、手紙を書く時は職員が援助している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには四季折々の花や手作りの作品を飾り暖かな家庭的な雰囲気になるように気を配っている。温度・湿度にも配慮し、心地よく過ごして頂ける様子を配っている。	リビングはゆったりと広く、中央に設置されたシンプルで上質なテーブルは利用者が使いやすいように椅子と共に低めに特別加工されている。一角には和室やソファを配したテレビコーナーがあり思いのままに過ごせる。室温は日々チェック・記録され快適に過ごせるよう細やかな配慮がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	外にはウッドデッキがあり景色を楽しんだり風や日光を感じるスペースがある。畳やソファも用意しておりゆとりと過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族の協力を得てご自宅で使い慣れたベッドやダンス、テレビ等を持ち込んで頂き居心地良い環境になるようにと心がけている。	エアコンとロッカーは備え付けとなっているがベッドや家具は好みのものを持ち込んでもらっている。特に、早く馴染めるように「大切にしているもの」を持ち込むように勧めている。好みにあわせて部屋内のレイアウトもやってもらう等、居心地良く過ごせる配慮がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	リビングのテーブルや椅子を低くし使いやすい様に工夫している。また、安全に配慮し手すりの形を持ちやすいように工夫しており、残存能力を活かせるように要所に設置している。		

V アウトカム項目 1階			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

## 2階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	<p>「地域との交流を大切にします」という活動目標を掲げ、毎朝朝礼にて唱和しており、地域の夏祭り・慰霊祭・秋祭り等へ参加し実践につなげている。</p>		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	<p>散歩や花の水やりの時に地域の方とあいさつや話をしたり、地域の方から行事への参加の声掛けをして頂いたりし交流を図っている。</p>		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	<p>運営推進会議で相談があればアドバイスをを行い、地域の方を通じて相談を受け今後の支援の方法などをアドバイスしている。</p>		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>活動、参加した行事は写真を見て頂きながら報告しており、参加者からの意見は外出等の行事計画に取り入れたり、職員で話し合い日々のケアに活かしている。</p>		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。</p>	<p>運営推進会議で地域包括支援センターを通して伝え関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して身体拘束をする事の入居者へ与える悪影響を理解しており、日中は玄関も開錠し、自由に入入りにできるようにしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して虐待について理解しており、常日頃からケアの内容に関して虐待に当たらないかどうか注意を払い、その防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>全職員が研修や資料を通して権利擁護に関して理解しており、必要と思われる入居者とその家族には制度の紹介と利用に関しその都度話し合いの機会を持ち、相談しながら導入の検討をしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居契約時納得して頂けるように説明を行っている。また、必要であれば入居後も随時説明を行い、質問も受け付けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にて意見、要望を受け付けており、玄関には意見箱を設置し誰でも記入できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回と随時、スタッフ会議を行っており、職員の意見を受け付け反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課にて各自が目標を掲げ向上心を持って働けるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本部からの研修の案内を職員全員が見る事が出来るようにしており、希望者には参加できるよう配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	2か月に1回、関連法人のグループホームの管理者と交流し情報の共有に努めており、地域の介護支援専門員の自主勉強会にも参加し交流している。法人外の居宅介護支援事業所の見学を受け入れたり、グループホームへの見学も2か所行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	関連法人の相談員と協働し、入居される前に生活歴等の情報収集を行い、本人・ご家族が安心してもらえるよう話し合いをしながら馴染みの関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>関連法人の相談員と協働し、相談時や見学時に困っている事や不安な事をお聞きしており、入居後もご家族との連携に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前に面談を行い状況をお聞きし、在宅から継続して訪問歯科を利用して頂いたり他のサービス利用も含め専門医と相談しながら対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者と職員が一緒に家事を行い役割を持って生活して頂き、時には教えて頂いたりと共に生活する馴染みの関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日頃から何かあればご家族に報告、相談をするようにしている。ご家族の提案、協力で温泉へ日帰り旅行をしたり、介護者の一員として協力を得られるような呼びかけをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>以前生活されていたグループホームに訪問したり、馴染みの関係が途切れないように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>気の合う入居者同士で外出を行ったり孤立しないように職員が気配りをし、支え合い共に生活出来る様支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退居された後でも相談や情報の提供を心掛けている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日頃の関わりの中から本人の希望・要望の把握に努め、ケアプランに取り入れながら一人一人に合ったケアをするよう努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前に面談を行いこれまでの生活歴をお聞きし、職員全員が把握し今後のケアに活かせるようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>24時間の様子を2時間おきに記録に残し、いつもと異なる言動はありのままを記載し、さらに重要な事は申し送りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人とご家族の意見と想いを聞いたうえで職員全体でカンファレンスを行い、それらを反映させたケアプランを作成しており、毎日チェックすることで現状に即しているかどうかの判断につなげている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の行動記録やカンファレンスは記録を残している。連絡ノートを活用し職員間での情報の共有が出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族や地域の方の協力を得ながら支援を行い、柔軟なサービスが提供できるように努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>家で暮らしていた時と同様に地域との交流が持てるように支援している。近所の方とのカラオケ大会や夏祭りへの参加等関わりを持って頂ける様努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人やご家族の意向を大切に確認したうえで希望の医療機関への受診を支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	職員に看護師がおり日常的に相談をしている。訪問看護師とは重要な情報・相談したい事は訪問看護記録ファイルを利用し情報の交換・共有に努めている。また、日常的に連絡が取れるようにしており、適時受診できるように連携体制を整えている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	関連法人の相談員との連携体制を整えており、入居者・ご家族が入退院時には安心できるように協力を得ている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	本人、ご家族の意向を踏まえ主治医と連携をとりながら、対応できるケアについて説明を行っている。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時対応の流れ、緊急連絡網を整備し全職員が分かるようにしている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	避難訓練を毎月行い全職員がその方法を身に付けられるように取り組んでいる。地域の方からはいつでも協力しますと言葉をいただき自動火災通報装置には地域の方の電話番号も登録している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	1人1人のプライバシーを大切にし、羞恥心に配慮した声掛け、誘導に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員側の一方的なケアではなく、本人の思い（ニーズ）や日々のリズム・ペースに合わせたケアに取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人1人の気持ちや希望をケアプランに取り入れ、それに沿ったケアを実践している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者の意向に沿って好きな服を着る、身だしなみを整える等の援助を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好にあった献立を考えており、食べやすいように工夫している。また、誕生日には食べたい物等希望を伺っており、行事には季節に合った食事をお出ししている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>偏った食事にならないよう献立を立てており、主治医より指示があれば個々に合わせた食事量にしている。水分摂取量に気を配りコーヒー・お茶・スポーツドリンク等飲んで頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の歯磨き、口腔ケア、義歯の手入れは欠かさず、必要な場合は歯科受診や訪問歯科往診により指導を受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>1人1人の排泄のパターンを探り出来るだけトイレで排泄して頂ける様支援し、排泄機能を維持できるように取り組んでいる。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>体操や散歩で腸の運動に働きかけ、便秘傾向の強い方には主治医と相談し、下剤や整腸剤にて調節を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴したい日、時間帯は本人の希望を聞き支援している。1人ひとりの気持ちや習慣に合わせた支援をするように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>1人1人の生活習慣を尊重し、日中の活動量を考慮し休息できるように声掛けをしたりしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>スタッフ会議でホームでの内服薬について職員同士で勉強する場を設けている。また、個々の職員も薬の説明書を読み副作用について理解している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入居前に把握している情報をもとに、楽しく日々を過ごせるよう嗜好・趣味の把握に努めている。畑作り、カラオケ、ぬり絵などの軽作業や手仕事などを通して張り合いのある生活がおくれるよう援助している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>季節が感じられる行事を年間を通して取り入れている。日常的にもドライブ、買い物、美術展見学などを積極的に行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭トラブルにならないように注意したうえで、少額の金銭を持たれている方もいらっしゃる。また、本人の嗜好品・生活用品等を立て替えたり預り金などで購入し支払いも自分でして頂いたりして支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族の意向や事情も考慮したうえで電話を利用して頂いている。また、携帯電話を持たれている方もおられ、自室でお話を楽しまれている。また、手紙を書く時は職員が援助している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには四季折々の花や手作りの作品を飾り暖かな家庭的な雰囲気になるように気を配っている。温度・湿度にも配慮し、心地よく過ごして頂ける様子を配っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>外にはウッドデッキがあり景色を楽しんだり風や日光を感じるスペースがある。畳やソファも用意しておりゆっくりと過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族の協力を得てご自宅で使い慣れたベッドやタンス、テレビ等を持ち込んで頂き居心地良い環境になるように心がけている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>リビングのテーブルや椅子を低くし使いやすい様に工夫している。また、安全に配慮し手すりの形を持ちやすいように工夫しており、残存能力を活かせるように要所に設置している。</p>		

V アウトカム項目 2階			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム千同ひまわり

作成日 平成24年12月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	日頃の外出支援がご家族に伝わっていない。	ご家族との連携を密にし日頃の本人の暮らしぶりが伝わるよう取り組む。	定期外食会を設け入居者の楽しみとし、玄関掲示板に写真を貼り様子を伝わりやすくする。また、毎月介護記録をご家族に見て頂く。	12か月
2	1	業務マニュアルにある心得を活かしきれていない。	日々の活動における心得を今以上に活かす。	心得の一つ一つの項目を毎月の月間目標とし職員一人一人に意識付けをする。	12か月
3	5	市町との関わりを今まで以上に密なものとする。	運営推進会議へ参加して頂ける様働きかける。	運営推進会議議事録を持参し口頭で説明すると共に次回のお知らせをし参加の呼びかけをする。	12か月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。